

**SPES2014****—新たなビジネス創造と実現に向けた技術獲得—****経験報告・実践事例 募集のご案内****2014年7月23日(水)～24日(木)****<http://www.jisa.or.jp/spes/>****日程:**2014年7月23日(水)～24日(木)**会場:**秋葉原UDXカンファレンス <http://udx.jp/>**主催:**一般社団法人情報サービス産業協会 **後援:**経済産業省、(独)情報処理推進機構、ITコーディネータ協会(予定)**協賛:**ソフトウェア技術者協会、(一社)コンピュータソフトウェア協会、(一財)日本規格協会、(一社)情報処理学会、(一社)組込みシステム技術協会、UMLモデリング推進協議会、(一社)電子情報技術産業協会、(一財)日本科学技術連盟、(一社)日本情報システム・ユーザー協会(いずれも予定)

開催趣旨

JISA 技術シンポジウム「SPES2014」は、「新たなビジネス創造と実現に向けた技術獲得」を重点テーマとして、本年7月2日間にわたり、秋葉原UDXカンファレンスにおいて開催いたします。

従来、情報システムはビジネスの場において、業務効率化や省力化を期待されて導入が進められて参りました。しかし、民間団体の調査に拠れば、米国においては情報技術(IT)は競争優位性を生み出す、又は競争力を維持するためのツールであり、マーケティングや販売の場面で効果が発揮されると理解されているようです。国内では、まだIT投資をコストと捉えている場面が多く見受けられますが、今後はますます収益に貢献する道具になっていくと認識しています。

これらの背景を踏まえ、1日目は重点テーマに対する当業界内外の有識者による講演を中心として、2日目は現場の技術基盤を強固とするための「現場による現場のための講演と発表」を中心として、プログラムを構成します。

つきましては、例年同様、2日目の経験報告セッションにおいて、現場での実践的な取組や改善活動、新技術への適用事例、システム利用者視点での開発、人材育成施策、グローバルビジネスの取組等の経験報告や実践事例を広く募集いたします。

皆様の日頃の創意工夫と成果を発表する機会として、積極的にご応募いただきたく、ご案内お願い申し上げます。なお、優れた経験報告及びプレゼンテーションには、それぞれベストプラクティス賞、ベストプレゼンテーション賞を授与いたします。

発表募集

募集テーマ

エンタープライズ系及び組込み系の現場における、ソフトウェアエンジニアリング(開発及び管理)の実践や、定性的または定量的な効果に係わる経験報告及び実践事例を募集します。また、本年度重点テーマ「新たなビジネス創造と実現に向けた技術獲得」に関わる事例や研究の投稿も歓迎いたします。

■開発技術に関するテーマ:ソフトウェアアーキテクチャの適用と評価、アジャイル開発の事例と評価、サービス化モデルの取組、など。

■プロセスに関するテーマ:要求獲得プロセス、変更管理プロセス、見積プロセス、レビュープロセス、テストプロセス、開発・保守・運用プロセス、など。

■改善に関するテーマ:プロセス改善に関する事例と経験、その効果、改善方法、改善効果の測定、方法改善のための経営的支援、TSP、PSP、改善のための人材育成、など。

■人材に関するテーマ:スキル標準適用の事例、教育カリキュラムの事例と評価、など。

■利用者視点に関するテーマ:クラウドや携帯端末(タブレット型端末、スマートフォン)の利活用を通して効果を得た事例、など。

■その他一般:要求工学、標準化活動、品質/生産性/信頼性向上への取り組み、大規模プロジェクトのマネジメント事例、中小規模プロジェクトのマネジメント事例、グローバルビジネスへの取り組み、海外企業との協業、など。

応募方法

(1) 投稿形式:

投稿ガイドラインに従い、規定のフェイスシートと発表資料でご応募ください。

□投稿ガイドライン、フェイスシートともに、<http://www.jisa.or.jp/spes/> からダウンロードしてください。※フェイスシート査読対象

□発表資料形式 MS・PowerPoint2003 以降の形式または PDF ファイル(1 ページ 1 スライド) ※査読対象

(2) 応募条件: 特になし(JISA 会員である必要はありません)

(3) 応募締切: 2014年4月14日(月) 17時(必着) ※締切日の調整、応じます。ご相談ください。

(4) 問合せ/投稿先: 電子メールによりご投稿下さい。[SPES2014 事務局(鈴木大原) 03-6214-1121, spes2014@jisa.or.jp]

今後の予定

○採否通知: 2014年5月27日(火): 査読付採否通知(予定) ○配付用原稿締切: 2014年6月24日(火)(採択者のみ)

○発表: 2014年7月24日(木)(採択者のみ) セッション発表、並びに情報交換パーティ会場でのポスターセッション。なお採択者本人及び共同研究者1名までのシンポジウム参加費(30,000円相当)は無料です。

SPES2014 企画WG 委員

主査: 中元秀明(野村総合研究所)、幹事: 足立久美(デンソー)、位野木万里(東芝ソリューション)、平石輝彦(パナソニック)、委員: 斎藤忍(NIT データ)、磯野聖(キヤノン IT ソリューションズ)、藤原史子(構造計画研究所)、秋元裕和(情報処理推進機構)、木村美子(情報処理推進機構)、保立久幸(情報処理推進機構)、新谷勝利(新谷 IT コンサルティング)、山路厚(デンソーテク)、會澤実(東芝)、大屋力(日本アイ・ビー・エム)、込山俊博(日本電気)、福地豊(日立製作所)、隅垣隆夫(日立ソリューションズ)、川幡和利(富士通エフ・アイ・ピー)、飯沢篤志(リコー IT ソリューションズ)、エキスパート: 井上克郎(大阪大学)、伏見諭(東海大学)、野中 誠(東洋大学)、青山幹雄(南山大学)